



その日、町は丸ごと引越をした。



監督:船橋淳 テーマ音楽:坂本龍一「for futaba」

故郷から遠く離れた場所で、現在も避難生活を送っている福島県双葉町民の日常を描いたドキュメンタリー

2012年/日本/96分/HD/カラー [製作・配給]ドキュメンタリージャパン、ビッグリバーフィルムズ [宣伝]bond production k.k. [宣伝協力]playtime

[監督]船橋淳 [プロデューサー]橋本佳子 [撮影]船橋淳、山崎裕 [音楽]鈴木治行 [エンディングテーマ「for futaba」作曲・演奏]坂本龍一 [出演]双葉町のみなさま、双葉郡のみなさま

福島県双葉町、町全体が丸ごと移住という前代未聞の事態に直面した。

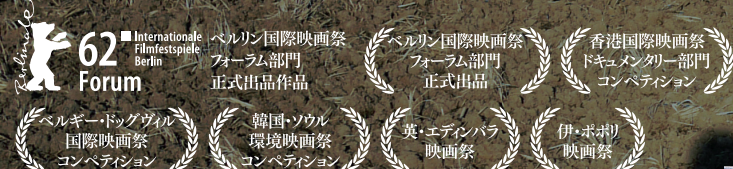
福島第一原発の5号機と6号機が立地していた福島県双葉町。事故後、町全体が警戒区域となり、急遽1423人が約250km離れた埼玉県さいさいの旧騎西高校へ避難。地域社会丸ごとの移転という前代未聞の事態となった。激変した環境の下、住民たちはこの1年半余りをいかに過ごして来たのか？本作は、そんな福島県双葉町の避難生活を描いたドキュメンタリー。ある日突然、故郷とともに全てを失った町民の日常を、9ヶ月間にわたって寄り添い記録した。

「双葉の人たちに感情移入して何度も泣いた。
日本の原子力政策を変えたい。」

坂本龍一 [音楽家]

テーマ曲・坂本龍一「for futaba」、監督・船橋淳
原発事故という嵐に立ち向かう双葉の住民の姿に、
ベルリン国際映画祭で満員の観客が温かいエールを送った。

監督の船橋淳は図らずも広島ひろしまの被曝二世にあたる。いつ帰郷できるかもわからず、賠償もされず、待たされるだけの避難生活を余儀なくされながら、それまで原発を推進していたことで自業自得とも罵られる町民に対して複雑な思いを抱き、そのありのままを描こうと考えた。足繁く避難所へ通い、時にはボランティアもしながら双葉町民と信頼関係を築き、彼らの日常の延長線上にある原発政策の矛盾をもあぶりだしていく。また、本作に共感した音楽家・坂本龍一がエンディングテーマ曲「for futaba」を提供。舞台挨拶に立ったベルリン映画祭での上映では「双葉の人たちに感情移入して何度も泣いた。日本の原子力政策を変えたい。」と述べた。



フタバから遠く離れて
Nuclear Nation

2012年/日本/96分/HD/カラー [製作・配給]ドキュメンタリージャパン、ビッグリバーフィルムズ [宣伝]bond production k.k. [宣伝協力]playtime [監督]船橋淳、[プロデューサー]橋本佳子 [撮影]船橋淳、山崎裕 [音楽]鈴木治行 [エンディングテーマ「for futaba」作曲・演奏]坂本龍一 [出演]双葉町のみなさま、双葉郡のみなさま



10月13日[土]より
オーデトリウム渋谷にて2週間限定ロードショー!

